

参院選1人区での”前哨戦”

2025年参院選に向けた野党間予備選の実施案

令和7年1月22日



予備選にあたり共有したい前提

- 目的 参院選における与党の改選過半数割れ
- 選出対象 全国に32ある一人区で自民党に対峙する野党を、選挙区ごとに選出する
- 選出方法 「幅広い民意」をすくい上げる形を目指す
- 考え方 「野党共闘」に基づく「野党統一候補」ではない
- 選出された政党が擁立する候補に対し、他野党は応援を義務づけられない
- 予備選に参加した政党は、自らが獲得しなかった選挙区に立候補者を擁立しない

予備選の実施方法 (日程はいずれも仮案)

第1段階 (3月上旬)

直近の支持に基づいて「擁立権」を配分

- 各選挙区での調査結果と2024年衆院選の比例得票で、各党の支持ポイントを算出
- ドント式で各党に「擁立権」を配分

各党が擁立する
選挙区の数
を決める

第2段階 (3月中旬)

擁立権の数に応じ、各党が擁立したい選挙区を「指名」

- 配分された「擁立権」の数を上限に、各党が擁立したい選挙区を「指名」
- 指名重複がなかった選挙区は擁立確定。重複した選挙区のみ、第3段階へ
- 同時に、第3段階敗北時の獲得優先順位を政党ごとに定めておく

各党が
どの選挙区に
擁立するかを
決める

第3段階 (5月上旬)

(指名重複した選挙区のみ) 調査で擁立できる党を決定

- 指名重複した選挙区で改めて調査を実施し、勝利した政党が擁立確定
- 敗北した政党は、獲得優先順位に沿って擁立選挙区を決定

※ 調査の実施主体は、予備選に参加する政党で合意して決定する

第1段階 — 全体

A: ネット情勢調査の
調査結果

順位付きの支持動向
をもとに
各党のポイントを計算

+

B: 2024年衆院選での
比例得票

比例得票数を
ポイント換算
※Aの情勢調査による
ポイント合計と
同じ合計値になるよう換算

=

「支持ポイント」

AとBの合計を算出



全選挙区で足し上げて各党のポイントを算出し、
ドント式で各党が擁立できる選挙区の数を決

第1段階 — ① 選挙区で順位付き支持動向を調査

対象となる全選挙区でネット情勢調査を行い、参加各党への支持動向を調査

- 集計時、年代や年代別投票率、性別を人口統計に合わせて補正
- 5党が参加する場合、一回答ごとに1位を4ポイント、2位を3ポイント、……5位を0ポイントに換算して合計
- 選挙区ごとに各党のポイント数を算出する
→ 次ページA:「調査獲得ポイント」となる

Q. 夏に行われる予定の参議院議員選挙で、以下の政党の候補者が立候補するとして、あなたが投票したいと思う順番を選んでください。

	1位	2位	3位	4位	5位
立憲民主党	●	○	○	○	○
日本維新の会	○	●	○	○	○
国民民主党	○	○	●	○	○
日本共産党	○	○	○	●	○
れいわ新選組	○	○	○	○	●

※ 調査のイメージ

第1段階 — ② 比例得票を加味

選挙区ごとに、2024年衆院選の比例得票数をポイント化

- 調査獲得ポイント(A)と同等になるよう、2024年衆院選比例得票をポイントに換算(B)
- A+B(C)を当該選挙区における各党の「支持ポイント」とする

	A: 調査獲得ポイント	2024年衆院選比例得票	B: 衆院選比例得票ポイント (小数点以下四捨五入)	C (A+B): 支持ポイント
立憲	1,700	110,260	3,858	5,558
国民	1,900	55,741	1,951	3,851
維新	1,700	38,710	1,355	3,055
れいわ	1,850	33,190	1,161	3,011
共産	1,850	19,283	675	2,525
計	9,000	(257,184)	9,000	18,000

第1段階 — ③ ドント式で「擁立権」を配分

積み上げた支持ポイントをもとに、ドント式で擁立できる選挙区数を決定する

- 対象となる全選挙区の支持ポイントを政党ごとに足し上げる
- ドント式で配分し、その数を各党が擁立できる上限の選挙区数とする
→ 各党が具体的にどの選挙区に擁立するかは、第2段階以降で決定する

	全選挙区で合計した支持ポイント	ドント方式による配分議席数
立憲	34,260	11 選挙区
国民	25,380	8 選挙区
維新	21,040	7 選挙区
れいわ	13,110	4 選挙区
共産	8,970	2 選挙区

※ 全選挙区で合計した支持ポイントは一例

第1段階 — 全体（再掲）

A: ネット情勢調査の
調査結果

順位付きの支持動向
をもとに
各党のポイントを計算

+

B: 2024年衆院選での
比例得票

比例得票数を
ポイント換算
※Aの情勢調査による
ポイント合計と
同じ合計値になるよう換算

=

「支持ポイント」

AとBの合計を算出



全選挙区で足し上げて各党のポイントを算出し、
ドント式で各党が擁立できる選挙区の数を決

第2段階 — ① 各党が選挙区を「指名」

第1段階で決まった選挙区数を上限に、各党が擁立したい選挙区を「指名」

- 配分選挙区数を上限に、各党が擁立したい選挙区を「指名」する
- 指名重複がない選挙区は第3段階を経ず確定
右例：B, C, E
- 指名重複がある選挙区は第3段階の対象となる
右例：A, D

政党	配分選挙区数	指名選挙区	確定選挙区	第3段階対象選挙区
立憲	3	A B D	B	A D
維新	2	C D	C	D
国民	2	A E	E	A

※ A, B, C, D, E, F, G の7選挙区を以上の3政党で指名する場合

第2段階 — ② 指名漏れの選挙区に優先順位付け

希望する選挙区に擁立できない場合の優先順位を、政党ごとに付ける

- 希望する選挙区に擁立できない場合の獲得選挙区として、指名漏れの選挙区に優先順位を付ける

政党	配分選挙区数	第3段階対象選挙区	獲得優先順位
立憲	3 (うち1確定)	A D	F → G
維新	2 (うち1確定)	D	G → F
国民	2 (うち1確定)	A	F → G

※ A, B, C, D, E, F, G の7選挙区を以上の3政党で指名する場合

第3段階 — ① 調査を実施して、選挙区ごとに勝者を決定

直接対決の形で調査を実施し、支持が多い政党が当該選挙区を「指名成功」

- 第3段階の対象となる全選挙区で、ネット情勢調査を実施する
- 集計時、年代や年代別投票率、性別によってウェイト補正する
- 重複指名した政党を並べて「○○(党名)の候補」として匿名化して問う
- 「まだ決めていない、わからない」の選択肢を除き、どちらかを選択してもらう形とする

Q. 夏に行われる参議院選挙で以下の政党の候補が立候補するとして、あなたはどちらに投票したいと思いますか

1. 立憲民主党の候補
2. 日本維新の会の候補

※ 調査のイメージ

第3段階 — ② 惜敗率に応じて、敗者に選挙区を配分

敗北した政党は、惜敗率に応じて、第2段階で定めた優先順位で「指名」

政党	配分選挙区数	第3段階対象選挙区	第3段階での獲得(例)	惜敗率(例)	優先順位による獲得	最終的な配分結果
立憲	3	A D	A	85% (D選挙区)	G 惜敗率が低い →2番目に獲得	B A G
維新	2	D	D			C D
国民	2	A		90% (A選挙区)	F 惜敗率が高い →優先的に獲得	E F

※ A, B, C, D, E, F, G の7選挙区を以上の3政党で指名する場合

日程案

予備選への参加締切	2月28日(金)
第1段階（調査実施）	3月8日(土)～9日(日)
第2段階（結果発表および指名）	3月13日(木)
第3段階（調査実施）	5月10日(土)～11日(日)
第3段階（結果発表）	5月14日(水)